

第26回、朝活かみいち メモ

題目：「志を持って生きる」

進行役：高田大輔さん（高田鉄工、上市在住）

参加者：13人(町内8人)

若年24歳の若き経営者・営業マン・現場マンがなぜ志を考えるようになったのか、そして今、どう人生をまい進しておられるのか、そんな興味あるお話をエネルギッシュに楽しく語ってられました。以下に話の概要を項目で表記いたします。

◆語り

1. 自己紹介

2. 仕事；任されて少し楽くなる。

3. 触発：友人の頑張りで意欲沸く。

4. 高田鉄工：

入社当時：自分の思いだけで。

その後：志を持つ覚悟。

混乱期：しっかりしなくては。



5. 出会い

上市商工会、中小企業家同友会、ハッピー上市、
青年会議所、

6. 出会い、活動

同友会で経営理念作りの会に参加

社員、お客様、協力企業；皆さん大好き。

家族、恋人と対話；感謝と愛を知る。



7. 自社の理念

- ・私達は、仕事を通して「幸せ」になります
- ・私達は、「ありがとう」を言える仕事をします
- ・私達は、子どもたちに、未来を繋ぎます
- ・一人ひとりの「夢」をみんなで叶えます

8. 自分の志

- ・運命（自分しか出来ないこと）
- ・使命（自分がしたいこと）

9. 志を持って変わったこと

- ・ブレなくなる。
- ・覚悟を持って行動。
- ・人生が豊に。



10. まとめ

- ・志は不可欠
- ・個人、家庭、会社、地域など、どんなものにも志は生きていくための指針。
- ・志を持って生きれば幸せにつながる。

◆討議

語りが終わった後、やこい語り合いで盛り上がりました。以下に、簡単にご紹介します。

- ・父親との関係は
- ・中小企業家同友会入会の理由 → 知らないことを知りたい
- ・求人について → 若い人募集中。新人を育てたい。
- ・恋人は → 夢や志を語って理解を深められたようなことをいっておられました。フロアーから「婚活ではない、希望を語ることが大事」とのこと。
- ・他にはどんなこと考え →
食についておにぎり屋から始まって居酒屋まで考えている。理由は、米を大事にするいわゆる食育のため。上市産の食材の惣菜も。これにより上市の農が発展し、ひいては、まちづくりへとつながってく。
- ・シルバーから叱咤激励もありました。若い人にもっと (仕事を)任せるべき。
(若い人の教育とはそれということでした)
- ・ビジョンを持つっていいことです。教育の現場で再認識。

◆高田さん、ご参加の皆さん、

どうもありがとうございました。 by togashi